

賀正 ごあいさつ



市長 吉岡 初浩

皆さま、新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年8月の市長選挙におきまして、市民各位より力強いご支援を賜り、市長となつて早4か月が過ぎようとしています。高浜市のアシタのチカラを築いていくための政策として、選挙において掲げたローカル・マニフェスト（政権公約）は、現在、実現に向けて着実に実行しております。その一つ「子ども医療費無料化」は昨年の9月議会で承認され、本年1月1日より施行されます。さらに、本年1月より、経営戦略グループと危機管理グループを新設するなど、組織を再編し、マニフェスト実行に向けて、スピード、信頼感、誠実さを持って、市政運営にあたっております。

さて、国政においては、昨年政権が交代し、鳩山内閣が発足いたしました。民主党はマニフェストにおいて、地域主権の確立を掲げ、国と地方の協議の場を法律に基づいて設置することとしております。また、子ども

も手当の支給や高校授業料の無償化、さらには後期高齢者医療制度や障害者自立支援法の廃止など、市民の皆さまはもちろんのこと、我々地方自治体にも多大な影響を及ぼすものと考えております。これから政権の行方をしっかりと見定めるとともに、地域住民の声に耳を傾け、よりよい制度づくりができるように国に対して要望していきたいと思っております。

一方で、地域経済は依然厳しい状況であり、企業収益の減少、雇用情勢の悪化などにより、本市の税収入も厳しさを増すことが予想されます。本市といたしましては、限られた財源の中、今までの事業と新しい事業を市民目線で整理するため、6月頃に高浜版の「事業仕分け」を実施いたします。そして、さまざまな課題に対応できる財政基盤を確立する一方、経営改善を行う企業を応援するなど、積極的に企業支援を行ってまいります。

また、昨年10月8日に台風18号が上陸し、東海地方を直撃しました。幸い本市では犠牲者が出るような被害はありませんでしたが、改めて水災害の恐ろしさを感じ知らされました。早急に危機管理体制の整備や治水対策を行い、安全・安心なまちづくりを進めていきます。

終わりに、新春の門出にあたり、市民の皆さまのご多幸とご健勝を祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。



市議会議員 磯貝 正隆

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、高浜市議会を代表いたしまして、市民の皆さまに謹んでごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、良き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃から市政・市議会に対しまして温かい御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、国・高浜市においても大きな変化の1年でありました。8月の衆議院総選挙では民主党の圧勝により、民主党政権が誕生し、同日に行われました高浜市長選挙では、20年ぶりに新市長が誕生いたしております。

このような中、昨年4月には市立病院が民間移譲され、刈谷豊田総合病院高浜分院としてスタートし、5月には高浜まちづくり協議会が発足し、市内5小学校区において、まちづくり協議会の活動が進められることになりました。また、9月市議会定例会において「高浜市子ども医療費支給条例」

の改正がされ、本年1月1日から中学3年生までの入院・通院全ての医療費無料化を実施することとなりました。

議会におきましては、2常任委員会への改編、反問権や自由討議の試行導入、議員提案により制定された「高浜市みんなをまちをきれいにしよう条例」の実施など、より透明性の高い、そして市民に信頼される民主的な議会を目指し、さまざまな議会改革を実施しておりますが、今後さらさらに進めてまいります。

今年には市制40周年を迎えるとともに、第5次高浜市総合計画の最終年に当たります。一昨年から続く不況が市民生活や地産産業である瓦業界にも大きな打撃を与えており、本市においても大変厳しい財政運営が強いられることとなります。このような社会経済情勢に的確に対応していくため、さまざまな課題に対し、感うことなく全力を挙げて取り組み、夢がきらきらと輝く、やすらぎのある高浜を築くために、我々市議会議員も努力してまいりますので、さらなるご支援をお願いいたします。

今年の干支は寅。寅の文字は春が来て草木が生ずる状態を表しているとされており、今年こそは深刻な不況を脱し、市民の皆さまにとってこの1年が健康で明るい幸せな年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



新年の